



世界遺産のアンコール遺跡

蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆
近藤龍弘

〒940-0052
長岡市神田町1丁目4番10
TEL.0258-32-2811

◆スタッフ◆

小林国二・小林善明・高橋潔・加瀬由紀子
室賀清輝・近藤マリ子・高橋利春・近藤善信
後援・株式会社アサヒ
印刷・(株)北越時報社

ご家族の皆さままでご覧ください

「ホーチミン市・アンコール」を訪ねて

翠巖龍弘

この度、前々からは非行
きたいと願っていたホーチ
ミン市と世界遺産のアンコ
ールワットなどを訪ねるこ
とができました。

ホーチミン市では一泊で
したが、旧大統領官邸見学な
ど、短い時間の中にも内容
の深い時を過ごすことが出
来ました。特に「戦争証跡博
物館」を見学した時には、
重く深く、色々考えさせら
れ、投獄システムの拷問方法
や投獄犠牲者の展示室など
を見た後は吐き気をもよお
し、同じ人間がここまで鬼の
ようになれるものなのかと、
戦争は普通の人間を鬼や悪
魔にも変えてしまうものだ
とつくづく感じさせられま
した。

とが改めて思い出され、旧
サイゴン、現在のホーチミン
市を実際に見ることが出来
いかに平和が大事か、決し
て正義の戦争などはないと
強く感じさせられました。

今回の旅行で奇妙に感じ
たことに、お年を召した人が
少ないことでしたが、現地家
内人の話ではホーチミン市で
は急激にバイクが増え、スピ
ードについていけなく、危な
いので早朝散歩したりして、
日中は家の中に居られると
のこと。カンボジアではボル
ポト派によつて大勢の人が殺
されたためとのことでした。

私の学生時代はベトナム
戦争の最中、日本でも「ベ平
連」などの戦争反対の市民
運動が盛り上がり、
私も当時、ニュース報道や
新聞記事を見入っていたこ
ろが、

翌日からはカンボジア北
西部シエムリアップ州のトン
レサップ湖の北東岸一帯に
ある石造、レンガ造りの遺跡
群、アンコール朝(八〇二、
一四三二年ごろ)時代に建造
された世界遺産のアンコー
ル遺跡のいくつかを二日間
にわたつて見学。クメール王
朝全盛期のアンコール・ワット
やアンコール・トム、巨大な
ガジュマルの木々に押しつ
ぶされた建造物などを見学
し、当時の王朝の力、勢い
を想像すると同時に、「平
家物語」の「祇園精舎の鐘の
音…」などが思い起こされ、
「無常」を強く感じ入ると同
時に、自然の営みの強烈さ
を垣間見ることが出来たよ
うな気持ちになりました。

シエムリアップの現地案内
人の「カンボジアの人々は、
自然と共に長年ゆつくりと
暮らして来た。果物も農業
を使わず、安全で美味しく
人気も高い。しかし最近が発
展と共に土地も高騰、格差
社会になつて来ている」との
言葉にハッとさせられました。

豊になることは良いこと
でしょうが、時間に追われ
大事なことや文化を失いつ
つある私共において、自然
のサイクルに合わせての歩
く速さのゆつくりさを思い
出したいものです。

「カンジャク」の「ク」の字をとって感謝する

皆様よろしくお願いします



皆様のお力添えを

お願い申し上げます

世話人代表 鈴木昭次郎

今年、初めての総代ならびに世話人会において災害復興はもとより、他の多くの事業について献身的に尽くされた前任者の室賀さんの後任として、私が世話人代表に選ばれました。微力の私にとつては非常に重責であると思いますが、皆様のご指導ご協力を頂きながら、お役に立ちたいと思いますので宜しくお願い申し上げます。

早いもので、真弘副住職様が送行の儀を済まされ帰山されてから間もなく一年となります。真弘様はお帰り早々寺内のお仕事、そして

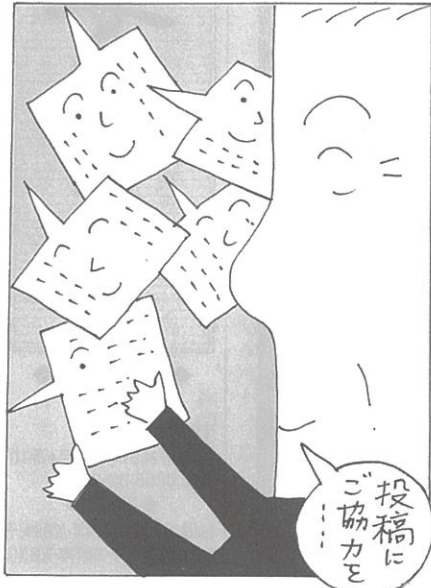
檀家さんを精力的に廻っておられると承っております。お二人で私達により以上の力強く生きるご指導を頂けるものと喜んでおります。

真弘様のお帰り、そして素晴らしい客殿も完成し、予定された工事も概ね完了されたと思います。これを機会に住職さんが語っておられた「寺と檀家の垣根が無いこと」を目標に、檀家の皆さんの知恵を拝借しながら真摯に取り組み、早急にある程度の方角付けを考えねばならないと思います。ただし、多分に抽象的に

なり具体的な発送は見出せないと思いますが、可としなければならぬと思います。お寺の持てるものの中でも客殿、季刊紙および修養(坐禅・写経・KAKA笑の会、親睦旅行)が促進に大なる役割を果たすと思います。

この課題については寺と檀家間で、お互いに理解と信頼感を持つて接すれば自ずと道は開かれると思います。子孫のためにも開かれた寺、心のよりどころの構築にお力添えをお願いいたします。

さて、季刊紙「蔵王山安善寺」も、お陰様にて発行以来四十号を数えるに至りましたが、皆様から非常にご好評を頂いていると承っております。



ます。この陰には(株)アサヒ様の御厚意と編集委員の皆さんの並々ならぬご苦労があることと改めて感謝申し上げますと共に、檀家の皆さんも投稿にご協力くださるようお願い申し上げます。



精一杯頑張りますのでよろしく申し上げます

世話人 玉垣哲郎

新潟の雪も三月の声を聞くに付け日増しに春の訪れを感じる今日この頃ですが、檀家の皆様におかれましては、お元気でご活躍のことと存じます。

この度、安善寺方丈様より檀家世話人を本年度より仰せつかりました。私にとつて身に余る重責でございますが、安善寺檀家の一員として精一杯頑張つてまいりたいと思っておりますので、ご指導お願い申し上げます。



近くに出来たマンションから見た安善寺

【日々精進(三)】

「今年の漢字」はどんな字になる？

近藤真弘

皆さんは「今年の漢字」というのをご存知でしょうか？ 毎年年末になるとテレビで京都の清水寺の管長が大きな筆で揮毫しているのをご覧になった方達もいらっしゃるかと思えます。その一年を振り返って漢字一字で表すのが「今年の漢字」です。

昨年「偽」という漢字で一年が表されました。不二家の偽装をはじめ食品業界の賞味期限や原材料の偽装が相次ぎ起こり、年金問題、防衛省の汚職、テレビ番組のねつ造など、真実を偽装した事件が多く起こったことからこの「偽」という字に決まったそうです。

「偽」という時を広辞苑で調べると①いつわり②誤った推理と書いてあります。私はこの「偽」という字を見て「人」の「為」と書いて何でそのようなまったく違う、むしろ逆の意味になるのか不思議

に思い調べてみました。するとこの「偽」という字に使われている「為」という字は、人にとって利益のあることを行う「為」ではなく「人が為す」、すなわち人が行う行為のことで全く別のものにする偽物になるという意味があるそうです。漢字一つをとって

もなかなかいろんな深い意味があるんだなと勉強になりました。そんなことを調べていると面白いものを見つけました。それは過去の「今年の漢字」です。一九九五年からこの「今年の漢字」というものが始まったそうで、この年か

ら順に「震」「食」「倒」「毒」「末」「金」「戦」「帰」「虎」「災」「愛」「命」、そして去年の「偽」というのが過去の漢字です。

私はこれを最初に見て嫌な意味の漢字が多いなと思いました。そしてこの過去の「今年の漢字」が載っていた資料には、それぞれの漢字に決まった理由が書かれています。それを読んでますますがっかりいたしました。かろうじて良い印象をうける「愛」や「命」という字も理由をみると良い意味と同時に「愛が足りない」や「命を粗末にする」など、悪い理由も書かれています。他の年の漢字にいたっては天災的なことも含め、悪い理由ばかりが説明として書かれていました。

この「今年の漢字」というのは毎年一般の人の投稿により一番多いものがその



年の漢字として決まるそうです。では一般の人は何を基準にその年の印象を決定づけるのかというと、新聞やテレビによるメディアからの情報で決めているという人がほとんどです。

確かにテレビをつけるトップニュースで報道されるのは嫌な事件や政治家の不祥事など暗いニュースがほとんどです。そして、そういったニュースは印象に残るといっても事実です。しかし、改めて考えてみても、この日本における年が昨年のように「偽」という字で表されるというの

は大変嘆かわしいことだと思います。

是非今年の漢字からは良い意味をたくさん含んだ漢字が選ばれること、そしてそうなることこそ、本当に心から豊かな日本であることの証明になるのではないかと思います。

この「今年の漢字」というのは一人ひとりが個人で決めてみても面白いかもしれません。自分自身の一年を振り返り、どんな一年だったか漢字一字で表す。人生の簡単な日記のようになるのではないのでしょうか。

信頼すること・信頼されること

西澤信勝



私は、安善寺住職の近藤龍弘君とは保育園・小学校・中学校・高校と一緒で、いわば竹馬の友として今日までおつきあいをいただいております。その近藤君から安善寺様の季刊紙に寄稿を頼まれ、さて、何を書こうかと悩み「信頼すること・信頼されること」で書いてみました。

私は、生まれてから今日まで(大学時代を除いて)ずっと長岡で暮らしています。四季の変化のはっきりとした、そして水と食べ物のおいしい街、人情味のある人が大勢いる長岡が好きです。そして、この街で父親の後を継ぎ畳屋を四十年近くやっております。この間、多くのお得意様や知人・友人のお力を頂き感謝しております。私が家に入って四年目の二十六歳の時に父が亡くなりました。そこで若輩の私が社長になり、それまでいた三人の職人と一緒に仕事を

をこなしました。当初は経験の浅い私が店主になったことで、長いつきあいのあった何人かの工務店主やお得意様から「おめさん、仕事は大丈夫らかね」と不安がられました。その時は、信じてもらえない事のくやしさを痛感しました。一つひとつ実績を上げていくほかはないと覚悟をしました。

そして、二十七歳で結婚して五年後に長男が、その二年後に長女が生まれまし

と知り合い、多くの事を学ばせていただき、楽しい思い出がいっぱいできました。私の子育ては、井深大、元ソニー名誉会長の幼児教育論を基本として、また長男が小学校一年の時の父親参観日で担任の先生が話された「ピグマリオン効果」を信じてやってきました。

井深大は、その教育論で次のように言っています。子供はどの子も皆同じように無限の可能性を持っている。人間の脳細胞の発達は三歳までにその七十〜八十パーセントが終わる。子供の性格・人格・能力は脳細胞の配線ができあがる三歳までの育てられ方、環境によつて大きく変わる。親は自分の価値観をしつかり持つて育てる。そして子供の可能性を信じて接することだ。

また「ピグマリオン効果」とは、アメリカの著名な教育学の教授が現場視察で、ある小学校に行った時、授業参観の後で担任の先生に「ジョンとメアリーはこれから学力が伸びますよ」と言

ったことです。そして、一年後同じ学校に行った時、担任に「教授はどうしてあの二人の子供の能力を見抜いたのですか」と聞かれた。教授は「私は、二人の名前は単に思いつくままに言ったのです。あなたがこの二人は伸びる子供だと信じ込み、日頃からその心構えで接してきたから子供もそれに応えてきたのです」と答えたそうです。

ピグマリオンはギリシャ神話に出てくる石の彫刻家です。ある時、大理石で女性像を彫つていて、あまりにもすばらしいものになってきたので、こんな女性が自分の妻になってくれたらどんなにかいいだろうと、思いながら創つていたら、その像が本当の女性になったと言う話です。信じて念じて接すると、必ず相手は応えてくれるという事です。私自身も相手から信頼されるような生き方をしたいと思つて



西澤信勝氏プロフィール
昭和二十二年生まれ。阪之上小学校、長岡東中学校、長岡高校、中央大学卒業。有限会社西澤畳工事社長。長岡市議会議員二期目。

便り

大切な物を取り戻すには

匿名希望

ピンボーン！ 玄関のチャイムの音で目覚めると外とはまだ暗い。手探りで受話器を取り、インターフォン

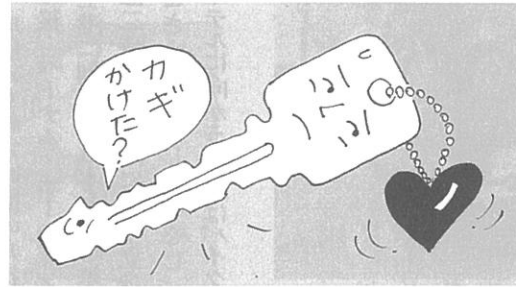
「どなたですか？」と尋ねると、聞こえないような小さな声で「腹がへっているのです」。隣で休んでいる主人が急いで洋服に着替えている間も待ちきれないのか、またはチャイムが鳴る。

その後、玄関から聞こえてくるやりとりを聞きながら、本当に世の中が少し変になって来たことを肌で感じられるような時代になったのを不安に感じつつ、戻ってきた主人が重い口調で「ヒョロヒョロしていた、今にも倒れそうだったよ！」。

僅かの食べ物とお金をあげて帰ってもらったとのこと。団塊世代の私たちが子供の頃は今朝のような人がいなかったわけではないが最近

は本当に多い。反面、テレビ

などを見てみると、億の単位の話が蔓延している。格差社会と言われ始めてからまだ日が浅いように思われますが、その速さがどんどんと速度を速めているように思うのは私だけでしょうか？ これからの日本を考えると恐ろしくなります。



一昔前の日本は、鍵をかけるなくとも安全な、本当に良い国でした。今の日本は毎日

毎日犯罪が後を絶たない、本当に怖い国と化してしまつた。取り戻すには壊してきただ日々の何十倍もの日数と努力が必要でしょうけれど、自己中心的な考えから、周

りを思いやる気持ちを大切にしていける事から何かが見えてくるような気がします。

安善寺様とのご縁

築井 仁

一、「参禅会」

ご縁の初めは「参禅会」である。四十六年前の昭和

三十七年、研究職の農業試験場を選び、長岡住となり、学生時代友人と教育学の教授から曹洞、臨済のご縁を頂いていたので、坐禅の出来るお寺を探したのであった。

初の上は九月と思う。参集者は六、七人。坐禅とその後茶話会も「春風駘蕩」の雰囲気。方丈様のお話に「ほつほを…」とお答えの単衣姿の温厚な翁が印象に残つた。遠山夕雲先生であつた。ただ、当時の私は学生時代

時代の緊張感のある坐禅を懐かしんでいた。何年かご無沙汰し、再び参上した時は夕雲先生はおられず、内山、樫沢、小林、近藤さん、関根先生などの七、八人。後に元気な曾根さんや阿部さんが入れられ、臨済禅を経験の計理士の江口

さんが若い方を連れて来られたりで十、十五人位の頃もあつたが、新参と退会まで顔ぶれは変わりながらも七、八人で現在に至つている。

二、「先代方丈様」

先代の方丈様は、「行」のお方と思う。四十八年頃のある時、礼拝のお姿に心打たれた。「名状しがたい何か」への感動であつた。なぜだろうと思つた。仕事の合間にも度々思つた。数年後、パッとひらめいた。あのお姿は「礼拝されておられたのではなく、礼拝そのものになつておられたのだ」と。

「行」に徹せられたお方の全身全霊を籠めての礼拝が発するオーラであろう。私の仏教理解の画期的深化であつた。有り難いご縁であつた。今もご本尊様にお参りの後、あの穏和なご肖像に合掌し、良寛さんを連想している。

三、「現方丈様」

五十八年一月、元気で出勤した妻が心不全で夕方急死した。出張の私は車の中で知り得ず、吹雪で帰宅は七時。夜九時半と遅かつたが枕行をお願いした。

当時副住職の現方丈様がお出で下さつた。悲しみに狂つていた私は、帰り支度の方丈様に「なぜ女房のような善人が若死にし、俺のような奴が残るんでしょうか」と食いついた。方丈様は「瞬絶句され、困惑と苦渋の表情で「そんなこと云つたつて、みんな決まっているのですよ、築井さん」とお答え下さつた。

申し訳なかつたと思う一方で、何と冷たい答えだろうとも思つた。しかし冷厳な真実であり、心に重く染み込んだ。この「決まっていること」が「因縁の二つ」と気づいたのは三月のお彼岸であつた。「すべては因縁、これが良寛さんの悟り」と気づいたきっかけでもあつた。

四、「龍穩院様」

方丈様御母堂様の告別式であつた。龍穩院様は思い出を語られ、最後に「生き代り死に代りしてこの安善寺をお守り下さらんことを」と叫ばれた。このお言葉は何故か心に残り、折々思い出していた。ある日、職場の悩みの時、この言葉が浮かんだ。そして

思つた。「所詮俺は俺でしかない、今の己の誠を尽くすしかない。誤解や不足には次の世で」と。肩が楽になつた。数ヶ月後、子供達に云われた「お父さんこの頃優しくなつたね。良寛みたいになる」といいなあ」と。

五、「ペコのひとりごと」

本紙のこのランを何時も楽しみにしている。別世界と思つていたお寺様の家庭内を飾らない言葉とユーモアでかいま見せてくださる。親バカやおノロケのチラリもある。何よりも読み終えて心とむのが有り難い。人生への感謝からにじみ出る独り言だからであろう。万人の心を和ませた良寛さんにつながる世界である。

六、おわりに

仏教のポイントである「行への没如、すべては因縁、転生、人生への感謝」を安善寺様のご縁で得心できた。只只感謝である。

※付記

方丈様を顧問に「長岡良寛敬慕会」を結成します。皆様もご参加ください。

戦争の爪跡が残る 世界遺産への旅を 終えて感じたこと



二月二十四日、真冬の長岡をあとに夜行バスに乗り早朝、成田山で道中の無事を願って参拝した後、成田空港へ。東京から参加の二名も加わり、一行十六名で『世界遺産・最大の仏教遺跡・アンコールワットの旅』に出発致しました。

成田から約六時間の飛行の後、ベトナム・ホーチミン空港に到着。日本との時差は二時間。空港に降り立つとさすがに蒸し暑い感じ。ホテルに向かう道路はバイクに(二、五人で乗っている)乗った人々で溢れかえり、信号が変わってバイクが走り出す様はまるで先日行われた東京マラソンのスタートと同じような光景…。



翌日訪れた戦争証跡博物館では目を覆いたくなるような写真が数多く展示されていて、ベトナム戦争の傷跡の深さに改めて考えさせられるものがある一方で、長きにわたりフランスの支配下にあつただけにヨーロッパ建築の美しい建物(中央郵便局・サイゴン大教会)や女性のアオザイ姿がともきれいで目を樂しませてもらいました。



夕方にはカンボジアのシエムリアップ空港に到着。世界遺産に登録されてはいるものの、最も破壊が進んでいる遺跡。年間この地を訪れる観光客は二百万人にものぼると言われ、道中いたるところに遺跡が点在し、遺跡の街といっても過言ではないくらい当時の王朝の権力の大きさを物語って圧巻でした。

日本だったら立入禁止になるであろう、今にも崩れそうな建物の間近まで見学できるのも地震のない国だからでしょうか？
バスが走っている途中に小児病院が目をつきました。隣にはコンサートホールがあり、そこでコンサートを催した収益がみな小児病院に寄付され、子供の診察は無料とのこと。それにしても具合の悪い子供を抱いた母親が炎天下で順番を待っているのは日本では考えられない光景でした。

- 夕方にはカンボジアのシエムリアップ空港に到着。世界遺産に登録されてはいるものの、最も破壊が進んでいる遺跡。年間この地を訪れる観光客は二百万人にものぼると言われ、道中いたるところに遺跡が点在し、遺跡の街といっても過言ではないくらい当時の王朝の権力の大きさを物語って圧巻でした。
- 日本だったら立入禁止になるであろう、今にも崩れそうな建物の間近まで見学できるのも地震のない国だからでしょうか？
バスが走っている途中に小児病院が目をつきました。隣にはコンサートホールがあり、そこでコンサートを催した収益がみな小児病院に寄付され、子供の診察は無料とのこと。それにしても具合の悪い子供を抱いた母親が炎天下で順番を待っているのは日本では考えられない光景でした。
- とにかく何キロも歩き足が棒になるようでしたが、
- 参加者全員に何のトラブルもなく無事帰国出来たことを感謝いたします。
- お別れ**
(平成十九年十二月月)
平成二十年二月末)
- 神田 鶴吉様
平成十九年十二月廿六日寂
長岡市新保
 - 岡地 喜代様
平成二十年五月五日寂
長岡市新保
 - 内山 省一様
平成二十年五月廿二日寂
東京都稲城市
 - 丹後 成巳様
平成二十年二月五日寂
長岡市長町
 - 金子登美子様
平成二十年二月廿三日寂
東京都江東区
 - 大内 弘様
平成二十年二月廿三日寂
東京都小金井市
 - 太刀川キヨ様
平成二十年二月廿七日寂
長岡市表町
- ご冥福をお祈りいたします

手や足の汚れは洗えども心の垢を洗う人少なし

旬歌 愁灯

[その十六]

想いの届く日

加瀬由紀子

卒業、退職、入学、就職と人生の二つの節目となる三月がやってきた。特に私たち団塊の世代は、ハンパではない人数が定年退職を迎える。また、六十歳は還暦（暦が一巡して振り出しにもどる意）だそうで、文字通り転機となる年だ。

入る。中でも異彩を放っているのは、新潟水俣病を扱った映画「阿賀に生きる」の撮影に協力したメンバーたちだ。

川について学術的論文を執筆、研究の虫であった先生を、社会派、市民運動への参加とその舵を大きく変えたのは、まさにこの映画作りへの関わりだったと誰もが認めるところだ。

先日、新潟大学の河川工学の権威、大熊孝教授もいよいよ定年を迎え、最終講義のご案内をいただき新潟の会場へ出向いた。ホテルの大ホールで行われた最終講義には、なんと六百名近い受講者が集まった。

この人数も会場も前代未聞、なのに職員、学生、同窓生、院生の他に、参加者の半数以上を一般人が占めている。有名大学の名誉教授、といったおエライさんの祝辞が続くが、一様に「本日の最終講義のお顔ぶれには大熊先生の市民運動への熱い関わりが現れている」といった文言が

大熊教授との出会いは、奥只見の県営ダム計画反対運動の最中であつた。最初に親しくなったのは、どちらかといえば夫人の方である。英会話や太極拳の講師でもある彼女は、お宅に伺うと「ツマミ料理のプロ」を自称され、いつもおいしい酒肴をわたしたちと五匹のノラ猫たちにふるまってくれる。講義後の親睦会では、和服を召されていて「奥さん、今日は教授夫人みたいだね」などと「阿賀…」の仕掛け人、旗野秀人さんに冷やかに



されていたのがいかにも飾り気のない彼女らしい。

さて、奥只見ダム計画に私たちはイヌワシという絶滅危惧種の猛禽類保護を訴え、反対運動を展開した。一方、大熊先生は、土木工学の視点で科学的な計算に基づいて

勧告、科学者として正論を貫いた姿は尊敬に値する。土木分野の教授が引退されると、殆どはコンサルや建設会社などに天下るので、今後も自ら河川研究所を開設、惑わされることなく、川の研究に没頭されるそうで、ますますのご活躍が期待できる。

遠方からの来賓の中に、吉野川第十堰・可動堰化反対運動を展開、川の自然を守った姫野正義氏のお顔があり、市民運動についての話もじかに聞く事が出来た。

大熊教授は、講義の最後を「百年、記憶に残る活動を」と締めくくられた。現在の評価が、子どもに受け継がれ、その孫に伝わってゆく、そのスパンを百年とみて、記憶に残る活動をしましょうという提言であつた。また、マザーテレサのことばから、「善いと思つたことは、人の目を気にせず、行いなさい」と引用され、教育者としての「思い」をかなえさせてくれたことへの感謝も述べられた。退場前に会場を周されると、八カ所で退任を祝い、かつ惜しむ胸

上げが起つた。ときに、昨年の十二月、十日町に唯一の映画館がオープンした。その名も「十日町シネマパラダイス」。KAKA笑の会でシンポジウムを開催したときに、パネラーとしておいでいただいた岡元真弓さんが館長である。彼女は一昨年、生死をさまよう大病を患つた。転院を繰り返して、何とか無事に生還することができた。この際、好きな映画のために自分の蓄えを崩しても夢を実現しようと、作つたのがこの映画館だ。

オープニングに駆けつける、フランス製のパープルのすわり心地のいいシートが待っていた。岡元館長がセレクトした予告編が上映される。「ウエストサイドストーリー」「ニューシネマパラダイス」「エディット・ピアフ」。「街のあかり」というフィンランド映画予告編に流れているのはカルロス・ガルドル作「想いの届く日」。美しいメロディの曲だ。

今、岡元さんも大熊先生も想いを遂げた充実感を味わっておられることだろう。

日記蔵大ペコ
パートII

春になったら庭を散歩して それから...

ペコのひとりごと

ようやく暖かくなったのに又きりもなく雪が降り始め、銀世界に逆戻りしてしまいました。

昨年来、慢性腎不全と診断されるなり、やたらと病院通いが頻繁になった私ですが、先日足が悪くなり動物病院に連れていってもらいました。

診察台の上の私を診て「若いね！二十歳なんて見えないし、表情が良い！素晴らしいね！どう見ても十二歳くらいかな？」でもしっかりと年齢相応の病名がつけられます。今回の診断は慢性関節炎でした。

でも、私一人ではこんな状態を保つてはられないのです。家族の支えがなければどうすることも出来ない私ですが、食事に薬が混じっているのはどうしても臭いが気になり食べられません。そう



するとボブが私の薬入りの食事を全部食べてしまい、夫になるでしょう...。その現れで、最近サクラに追いかけられても、炊飯器の上から軽々とジャンプして冷蔵庫の上にあがってしまいます。その時に炊飯器のスイッチ

チを切つてしまおうらしく、皆が食事をしようと思うとご飯が冷たくなっていることが多く、お母さんの「ボブは本当に困ったね」という声が聞こえてきます。猫の二、三歳は一番元気ですからね。でも甘えん坊のボブは家族が大好きで、起きている

ときは必ず家族の傍から離れないようです。人もいろいろなタイプの人がいますが、我々猫族もそれぞれタイプが違います。お寺は多くのお客様が来られますが、私がボブの歳の頃は私もお客様のところと一緒に歩いて声かけられることが大好きでした。

ボブは住職やお母さんの後を追って客間の方へ行くのですが、部屋を覗いて家族以外の人が一人でもおられると、呼んでもさっさと逃げて行ってしまう。いろいろな人と接した方が世の中楽しいと思うのですが...

雪が溶けて暖かくなったらもう一度ボブと一緒に庭を散歩しているんなことを教えてあげたいと思つています。 ニャーン！

編集 雑感

編集委員になって初めて編集雑感を担当しました。

今回は、皆様からの投稿が少なく困りました。体験した事や感じた事など、どしどし投稿をお願い致します。でもアンコールワットへの旅行があったので、無理を承知でお願いして予定の頁をうめることが出来ました。

お寺との関わりは葬儀と法事だけではありません。KAKA笑の会や坐禅などのお寺の行に参加されたり、お気軽にお寺に遊びに来られたらいかがでしょうか。

昔、子供の頃、度胸試しや怪談など、寺や墓地は遊び場でもあり、作法の場でもあったような気がします。親に連れられてお寺に行つて菓子を食べられるのが嬉しく

お便り原稿用紙

皆の読者・通信員・読者の皆様は、お便りや質問、お返事など、お気軽にお便りをお寄せください。お待ちします。

原稿の例

- 思ひ話／ご家族、ご先祖、お寺の思ひ話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてくたさい／仏事やしきたりや疑問（編集部がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい・嬉しかったこと、怒ったこと。

て、そして行儀が悪いと叱られて。なつかしい思い出です。今はこの家でも腹一杯のご飯が食べられ、菓子もある。寺に行くより家でのパソコンが楽しいという子供達。その子供達も親になり、ぜいたくな生活があたり前に感じる世の中になってしまった。投稿にもありましたが世の中少し間違つた方向に向かっているのではないだろうか。自由や権利をはき違えた行動や事件、偽りを何とも思わない企業と政治、またそれを面白おかしく誇張したり断じたり、無責任なコメントーターやマスコミ報道。人間もう少し相手の気持ちになつて言動が出来ないものか、自分だったらどうしても、自分だったらどうしようかと思つたらどうかと自分に置きかえて行動したらいかがでしょうか。

今からでも私達安善寺の檀家の皆さんで十年、二十年、五十年先の子孫が楽しく生きられる日本を造るために、思つたことを投稿したり、お寺を利用して子孫を連れて寺に遊びに行きましよう。

高橋利春

第四十二号、夏号は平成二十一年七月八日(火)発刊予定です。

※欄外のひとこと
西楽寺様発行の「ようこそようこそ」ことばの花束(こ)より